

COREOPEX SERIES

※COREOPEX(コレオベックス)は、スペイン語で“郵便”の意味のCorreoと英語で“頂点”を意味するApexをあわせた造語です。
 ※製品の外観・仕様は予告なく変更することがあります。

トッパン・フォームズ株式会社

〒105-8311 東京都港区東新橋 1-7-3
<http://www.toppan-f.co.jp/>
 商品本部 情報機器推進部
 TEL.03-6253-5765
 FAX.03-6253-6497

■お問い合わせ

 株式会社 ジェイエスキューブ

〒135-0062
 東京都江東区東雲1-7-12KDX豊洲グランスクエア5F
 事業開発本部 企画部
 TEL:03-5859-0453 FAX:03-6219-1302
<http://www.jscube.com/>

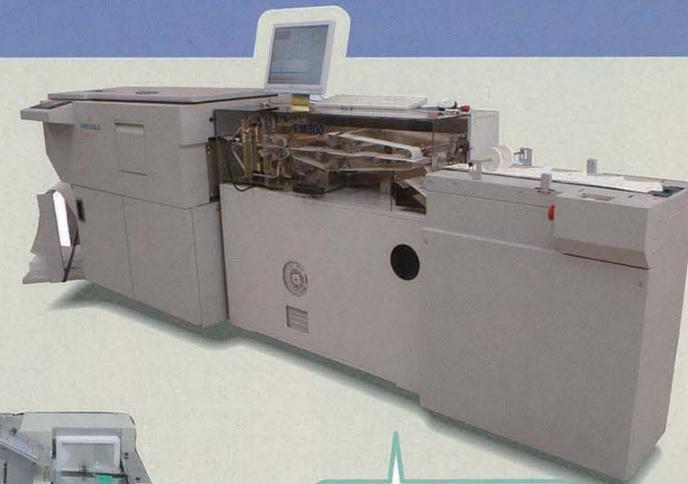
E3250-0703D00

メーリングシステムのセキュリティマシン

COREOPEX SERIES

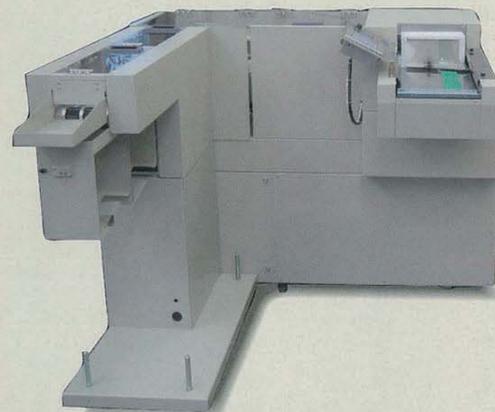
コレオベックス シリーズ

個人情報保護の強い味方!
 メーリング業務を強力サポート!!



COREOPEX JII

- シーラーPRESSLE JETⅢにインライン接続する高速宛名検査装置 (36,000通/時)
- コンベア上での区分けやダイバートボックスでの引き抜きが可能 (オプション)



COREOPEX K1

- インサーター処理した封筒のフラップの接着を高速チェック (12,000通/時)
- 宛名の連番検査等が可能 (オプション)



COREOPEX AP

- シーラー処理後のPOSTEX用紙の接着力(剥離力)を、測定・記録
- ジョブ登録が可能で、測定範囲や合否判定の条件の管理が容易

TOPPAN FORMS

COREOPEX K1

高速 正確 安全 三拍子そろった封筒フラップ検査装置

■封筒フィーダー部



最大4mmの厚みの封筒まで対応します。ランダム厚みの封筒を混在してセットすることも可能です。

検査封筒

■検査部 新開発DTSD方式



封筒検査部ではフラップの封緘具合を検査します。フラップには負荷を与えない非接触方式で検査をおこないます。オプションの宛名検査装置を付加すると、フラップと宛名の検査が同時に行えます。

■スタッカー排出部



スタッカー排出部は、お客様の業務形態に合わせて、3種類のパターンから選択可能です。左の写真は、Fタイプツイン積み上げスタッカーです。

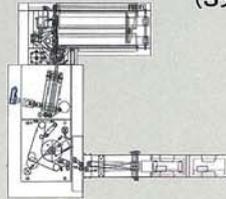
主な仕様

| | |
|---------|--|
| 装置構成 | 封筒フィーダー部、検査部、排出部、カメラ、照明、制御PC、液晶モニター |
| 電源 | AC100V 10A |
| 寸法 | S. 標準機 幅1,410×奥行1,670×高さ1,100 (mm) |
| | A. コンペア 幅1,600×奥行1,750×高さ1,100 (mm) |
| | F. 積み上げ機 幅1,410×奥行3,300×高さ1,200 (mm) |
| 処理媒体 | ・封筒サイズ 定型洋封筒 幅235~200×高さ120~100 (mm) ・フラップサイズ 25~40mm ・フラップ形状 台形フラップ(直線系であること) |
| ホッパー容量 | 400mm |
| スタッカー容量 | 最大150mm |
| 未封緘判定基準 | 60mm以上連続して未封緘の場合(基準値) |
| オプション | 宛名検査装置(郵便番号区分け、連番チェック他) 排出部区分け機能 |

3通りの排出形態が選択可能です

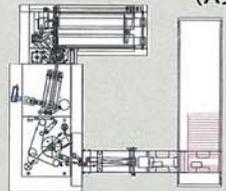
1. ツインスタッカー

(Sタイプ)



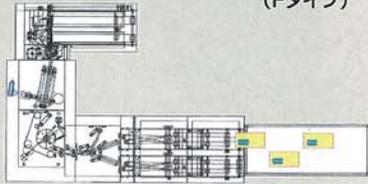
2. ツインスタッカー+コンペア

(Aタイプ)



3. ツイン積み上げスタッカー

(Fタイプ)



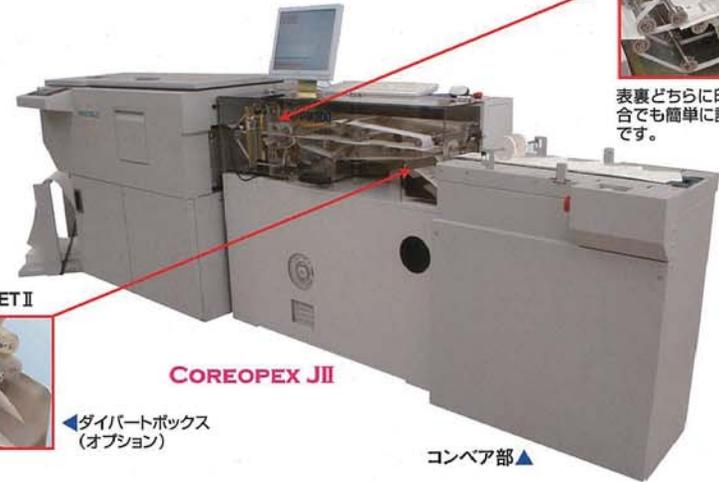
COREOPEX JII

高速シーラー連動 ハガキ宛名部検査装置

●PRESSLE JETIIにインライン接続するハガキ宛名部検査装置



表裏どちらに印字面がある場合でも簡単に設定変更が可能です。



PRESSLE JET II



ダイバートボックス (オプション)

COREOPEX JII

コンペア部▲

主な仕様

| | |
|---------|---|
| 装置構成 | 搬送ユニット、画像解析装置、カメラ、照明、制御PC、液晶モニター |
| 電源 | AC100V 15A |
| 寸法 / 重量 | 本機単体 幅1,100×奥行600×高さ1,480 (mm) / 80kg (オプション付) |
| | JETII連結時 幅3,645×奥行895×高さ1,480 (mm) / 530kg (オプション付) |
| 読取り対応文字 | OCR-A, OCR-B, MICR, SEMIはフロント内蔵 その他、印刷又はレーザープリンタ等で鮮明に印字された文字が登録可能 (8P以上) |
| 処理速度 | 36,000通/時 (画像保存時は低下します) |
| 標準機能 | ①連番検査(降/昇順、飛び番) ②表裏検査③ランダム番号検査④郵便番号検査 |
| オプション | ①大容量画像保存ディスク②バーコード認識③ダイバートボックス④区分け機構 |

COREOPEX AP

POSTEX剥離力検査装置

※APは圧着力(Arrival at Pressure power)の略

- シーラー処理したハガキの圧着力を測定管理するシステム
- 処理履歴の管理が可能



主な仕様

| | |
|----------|---|
| 装置構成 | 剥離力測定装置、剥離力検査ソフトウェア ※PCは別途 |
| 電源 | AC100V 5A |
| 寸法 | 幅300×奥行300×高さ840mm |
| 検査媒体 | POSTEX用紙 |
| 必要なPC | RS-232Cポート付きPC、OS Microsoft Windows2000以上 |
| ソフトウェア機能 | 測定データ表示、データ管理、合否基準設定、ログ管理 |